



### 短時間で正確な検査へ ICカードを利用したシステムを導入

みなさんは街中でレントゲン車などの健診車両を見かけたことがありますか。健康クリニックでは協会施設での人間ドックや健康診断だけでなく、健診車両で事業所等に出向く巡回健診も実施しています。

健康診断を受診される方は、健診機関に何を期待しているのでしょうか。親切丁寧な対応や正確な検査はもちろん、検査の待ち時間が短く、正確な検査結果をできるだけ早くご提供できることが、もっとも重要で不可欠なことだと私たちは考えます。そこで、健診の精度向上を目指して、巡回健診にICカードを利用した健康診断(カード健診)のシステムを導入しました。

カード健診では、まず受付スタッフが受診される方の個人情報や検査項目などをICカードに登録します。そのICカードを持って検査を受診していただくと、検査データは検査機器から直接ICカードに登録されます。すべての検査データが登録されたことをデータ回収スタッフが確認して健診は終了となります。

以前は健診スタッフが紙の受診票に検査データ等を記入してチェックしていましたが、ICカードを利用することでデータが直接登録され、転記作業が不要となり、健診の終了確認もスムーズにおこなうことができるようになりました。カード健診は健診スタッフのストレス軽減にもつながっています。カード

に記録された個人情報は暗号化されており、万が一カードの紛失があっても漏えいのおそれはありません。

カード健診の実施を拡大し、正確な健診結果をより早くお届けすることで、皆さまの健康づくりのお役に立てるようこれからも努力してまいります。



身長体重計に接続されたタブレットとICカードと読取装置

(健康科学センター巡回健診課)

## 普段利用による備えが大切

### 共助用井戸水の約500件を検査

平成30年7月豪雨の災害では、広島県内のいたるところで甚大な災害が発生しました。多くの水道施設が被害を受け、広範囲にわたる断水が発生しました。

当会は、広島県と「災害時の遊休井戸等共助利用に係る水質検査に関する協定」を締結しています。これに基づ



き、県の依頼を受け災害直後から、市町の共助用井戸水491件の検査を無償で実施しました。

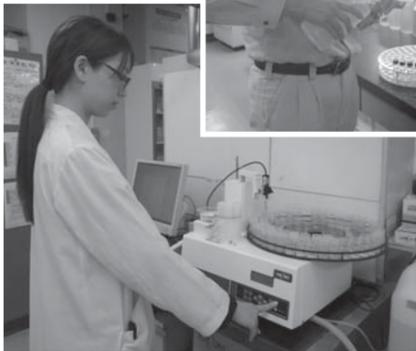
水道法では、飲料水として利用するための51項目の水質基準項目が定められています。ただし、今回の井戸水検査では、災害時の緊急対応として、井戸水の定期的な検査項目のうちどうしても実施すべき項目とされている、一般細菌や大腸菌などを含む11項目の検査を行いました。

検査結果で、一般細菌や大腸菌が基準に適合していない場合は、煮沸して飲用することが必要です。しかし、それ以外の項目が適合していない場合は、煮沸しても飲用には適しません。

ただし、適さない項目によっては、生活用水として利用できません。井戸水は、普段から



流す、土砂などで汚れた部分を流すなどの利用が可能です。今回の井戸水検査では、濁りや臭いがあるために飲用としては利用出来ない割合が6割を超えていました。この因としては、普段利用していない井戸水であったことが考えられます。



多くの試料の前処理をする職員(上) / 専用の機器により分析を実施(左)

起きてほしくない災害ですが、発生を想定した日頃からの備えが大切です。その中に井戸水の有効利用を検討していただければと思います。

(水道事業課)

## 専門知識やノウハウをカタチに

### 生きもの好きへの書籍を作成

当協会では、これまでの歴史の中で培った専門知識や情報、ノウハウなどをカタチにしていこうと、環境や健康づくり、まちづくりに役立つ物品の販売を展開してまいります。

紙「環境と健康」第484号(平成13年9月発行)〜第562号(平成24年2月発行)で、身近な生きものや町のシンボル、外来種、田んぼや海の生き物をテーマにしたシリーズ記事「意外な野外のガイダンス」をまとめたものです。

書籍にするにあたり、生きもの好きの方や子どもに知識を自慢したい大人を主な対象として掲載した当時の記事は、過去の情報



連載記事で取り上げたことのあるトノサマガエル(右上)、ミツバチ(左上)、赤とんぼ(下)

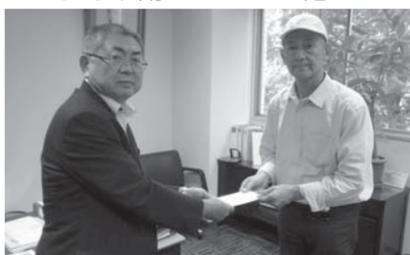
事を再構成しました。総ページ数は112ページで、四六版(B6版よりやや大きい)の2色刷りとなっております。

価格は千円程度で、11月下旬には、県内の書店で購入できる予定です。どうぞ、ご期待ください。

(事業連携室)

## 災害見舞金を受贈

平成30年7月豪雨による災害において、当協会の関係する全国のJ-サーキット(フットネスタジアム)の有志の方々、(財)宮城県予防医学協会、(株)産労総合研究所をはじめとし、多くのお見舞いを受贈いたしました。この紙面を借りて、皆さまの心遣いに感謝し、厚くお礼申し上げます。



J-サーキット(株)J-アライ代表取締役(右)より、佐藤理事長がお見舞金を受贈しました。